

統計だより

県内各市町の統計所管課だより(その20佐々町)

佐々町企画財政課 林枝 祐一

【佐々町の紹介】

長崎県の北部に位置する佐々町は、周辺を佐世保市に囲まれ、東境には、葦岳から牟田原に連なる山脈があり、西境の盲ヶ原から北境の鷲尾岳までは江里山脈が連なっています。この間に佐々谷と呼ばれる縦谷が形成され、国見山（佐世保市世知原町）に源流を発する延長 21.9km に及ぶ佐々川が町の中央を北東から南へ貫流し、これに沿って町が展開しています。

本町は、古くは佐々村、市瀬村が明治 22 年 4 月に合併して佐々村となり、大正から昭和にかけての炭鉱全盛期には、人口が 2 倍に膨れ上がるほどの勢いで急速に発展し、昭和 16 年 1 月に町制を施行しました。近年は、佐世保市のベッドタウンとして発展を続け、平成 23 年 9 月に西九州自動車道佐々インターチェンジが開通して交通アクセスが格段に向上したことにより、今後更なる発展が期待されています。

【佐々の魅力】

町のシンボルである清流佐々川は、水産生物の宝庫です。2 月にはシロウオ漁が盛んに行われ、秋から冬にかけては、天然のうなぎを取る「うなぎ塚」が多く作られます。また、6 月には鮎釣りが解禁されることから、たくさんの釣り人が佐々を訪れます。

西方にそびえる古川岳は、古くから神が降りる山として崇められ、「降神岳（ふるかみだけ）」とも呼ばれていました。かつて自然の城砦として幾多の武将に重宝された山脈は、歴史的背景を活かして、遊歩道が設けられています。

佐々川の河口沿いには、約 300 本の桜が植えられており、2 月下旬には早咲きの河津桜が見ごろになります。皿山公園奥にある真竹谷は、「長崎県一のしだれ桜群」と言われ、11 品種約 60 本のしだれ桜が美しい姿を見せてくれます。また、皿山公園にある菖蒲園では、6 月になると県北一約 2 万株の花菖蒲が、美しい紫色の花を咲かせます。



【暮らしいちばん！住むならさぎ】

佐々町の人口は、昭和 35 年の炭鉱閉山により急減し、昭和 45 年には 10,987 人にまで減少しました。しかし、令和 2 年に実施された国勢調査においては 13,912 人となっており、平成 27 年の前回調査結果（13,626 人）と比較して、286 人（2.1%）の増加となっています。また、住民基本台帳における人口の推移においても、前回の国勢調査が実施された平成 27 年以降、14,000 人前後まで増加している状況です。

年齢 3 区分別人口の推移では、平成 12 年から平成 27 年にかけて年少人口（0 歳～14 歳）は 2,399 人から 2,203 人でしたが、今回調査では 2,321 人となり、やや増加傾向にあります。一方で生産年齢人口（15～64 歳）は 8,439 人から 7,662 人と減少傾向にあり、また、老年人口（65 歳以上）においては 2,497 人から 3,929 人と増加し、老年人口が年少人口を上回り高齢化が進行している状況です。社人研による令和 2 年以降の将来推計においては、老年人口の伸びがやや横ばいから減少傾向に推移することにより、高齢化の進展のスピードは、徐々に緩くなっていくものと推測され、また、生産年齢人口の割合は、減少を続ける見込みである一方、年少人口の割合は、比較的維持されていくものと予想されています。

本町においては、現在の人口を維持し、まちの更なる活性化を図るため、子どもや子育て世代への支援を今後も引き続き充実させるとともに、子どもから高齢者までの各世代がいきいきと安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。また、将来的な移住・定住へと繋がる交流人口の拡大や関係人口の創出に繋げるために、まちの魅力を発信し、新しいひとの流れとつながりをつくる施策の充実を図ることも重要だと考えています。今後、なお一層、町民が住み続けたいと思われるまち、県外・町外から転入したいと思われるまちであり続けるために、町の将来像に掲げる「暮らしいちばん！住むなら さぎ～みんなが輝き、みんなで創るまち～」を理念として、まちづくりを進めていきます。

■近年の国勢調査にみる「総人口と年齢 3 区分」

調査年	総人口	年齢3区分					
		0～14歳 (年少人口)		15～64歳 (生産年齢人口)		65歳以上 (老年人口)	
			割合		割合		割合
平成12年(2000年)	13,335	2,399	18.0	8,439	63.3	2,497	18.7
平成17年(2005年)	13,697	2,427	17.7	8,569	62.6	2,701	19.7
平成22年(2010年)	13,599	2,251	16.6	8,406	61.8	2,938	21.6
平成27年(2015年)	13,626	2,203	16.2	7,882	57.9	3,539	26.0
令和2年(2020年)	13,912	2,321	16.7	7,662	55.1	3,929	28.2



■人口・世帯数の推移（住民基本台帳）

	世帯数	人口	男	女
平成27年(2015年)	5,606	13,719	6,464	7,255
平成28年(2016年)	5,688	13,792	6,495	7,297
平成29年(2017年)	5,758	13,773	6,494	7,279
平成30年(2018年)	5,842	13,843	6,536	7,307
平成31年(2019年)	5,885	13,951	6,603	7,348
令和2年(2020年)	5,961	14,017	6,651	7,366
令和3年(2021年)	6,078	14,000	6,662	7,338

3月31日現在

